



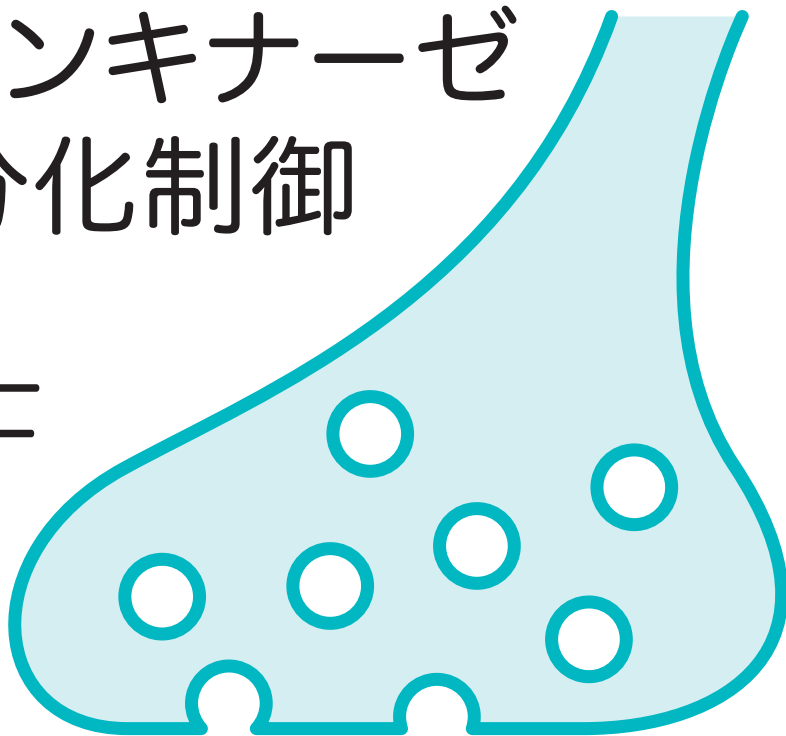
平成 22 年度 第 6 回 応用動物科学セミナー



カルモデュリンキナーゼ による神経分化制御

実吉 岳郎 博士

理化学研究所
脳科学総合研究センター
シナプス機能研究チーム



カルモデュリンキナーゼ(CaMK)は、脳神経系に豊富に発現する多機能タンパク質リン酸化酵素ファミリーである。セミナーでは我々が見いだした CaMKI による神経樹状突起シナプス形成の分子メカニズムとプロテオミクス技術を利用した新規 CaMK 基質同定法について紹介する。



7 月 14 日(水) 16:30~17:30



東京大学 農学部 7 号館 A 棟 106 号教室

本セミナーは動物科学のフロンティア(修士課程)/動物科学フロンティア(博士課程)の講義 1 回分としても認定されます。履修者は、セミナーの内容についてレポートを作成の上(様式は自由)セミナー修了後 2 週間以内に下記担当教員まで提出すること。

問い合わせ・レポート提出先：応用動物科学専攻 細胞生化学教室
田中 智 准教授

☎ 03-5841-5372

✉ asatoshi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp

